



NEWS RELEASE

準優勝の「なでしこジャパン」に注目集まる、 プロ野球「マツダオールスターゲーム 2015」出場若手選手のパワーにも期待。 ～第 30 回 アスリートイメージ評価調査 2015 年 6 月調査より～

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ(本社:東京都港区 社長:大森壽郎 以下博報堂DYメディアパートナーズ)は、株式会社博報堂DYスポーツマーケティング(本社:東京都港区 社長:豊田真嗣)、データスタジアム株式会社(本社:東京都世田谷区 社長:加藤善彦)と共同で、アスリートの総合的なイメージを測定する「第 30 回 アスリートイメージ評価調査」を実施いたしました。

■ 調査結果 ■

アスリートのイメージ項目で目立ったのは、7 月 5 日(現地時間)まで開催された「FIFA 女子ワールドカップ カナダ 2015」にも出場した澤穂希選手をはじめとする「なでしこジャパン」でした。澤選手は今大会では控えからの途中出場が多かったものの、その存在感は依然として大きく、「イメージ総合ランキング」でも 4 位にランクインしました。個別のイメージランキングでも「リーダーシップがある」「常にチャレンジ精神を持ち続けている」「生き方や発言に共感できる」で上位となり、澤選手はチーム内外へ影響を及ぼす選手であると思われます。今大会の「なでしこジャパン」を前回に引き続き率いた佐々木則夫監督もまた、「リーダーシップがある」という項目で、ランキング1位となりました。

その他では、プロ野球「マツダオールスターゲーム 2015」を控える中、ファン投票における最多得票の森友哉選手や筒香嘉智選手も「パワフルな」アスリートでランクインしており、出場に向けての期待がうかがえます。

・「アスリートイメージ総合ランキング」

1 位:イチロー(野球) 2 位:錦織圭(テニス) 3 位:浅田真央(フィギュアスケート) 4 位:澤穂希(サッカー) 5 位:吉田沙保里(レスリング)
6 位:本田圭佑(サッカー) 7 位:内村航平(体操) 8 位:田中将大(野球) 9 位:高梨沙羅(スキー・ジャンプ) 10 位:長谷部誠(サッカー)

・「リーダーシップがある」アスリート

1 位:佐々木則夫(サッカー) 2 位:長谷部誠(サッカー) 3 位:澤穂希(サッカー)
4 位:古田敦也(野球) 5 位:ヴァヒド・ハリルホジッチ(サッカー)

・「明るい」アスリート

1 位:中畑清(野球) 2 位:吉田沙保里(レスリング) 3 位:宮間あや(サッカー)
4 位:浅田真央(フィギュアスケート) 5 位:川澄奈穂美(サッカー)

・「パワフルな」アスリート

1 位:吉田沙保里(レスリング) 2 位:白鵬(大相撲) 3 位:照ノ富士(大相撲) 4 位:筒香嘉智(野球) 5 位:森友哉(野球)

この調査は CM キャスティングの際に使用する基礎データとしての活用を主な目的とし、対象アスリートの認知、好意度のほか、独自に構築した 29 項目のイメージ評価によるオリジナル調査です。博報堂 DY メディアパートナーズでは、今後も定期的に「アスリートイメージ評価調査」を実施し、アスリートのイメージ評価の分析を行ってまいります。

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

株式会社博報堂DYメディアパートナーズ

広報室

山崎・三石

03-6441-9347

データドリブンメディアマーケティングセンター 武方・市川

03-6441-9772

■ アスリートイメージ評価 各種ランキング ■

1)「純粋な」アスリート

- 1 位: 平野美宇(卓球)
- 2 位: 高梨沙羅(スキー・ジャンプ)
- 3 位: 浅田真央(フィギュアスケート)
- 4 位: 桐生祥秀(陸上)
- 5 位: 大谷翔平(野球)

2)「テクニックがある」アスリート

- 1 位: イチロー(野球)
- 2 位: 錦織圭(テニス)
- 3 位: 内村航平(体操)
- 4 位: 浅田真央(フィギュアスケート)
- 5 位: 宇佐美貴史(サッカー)

3)「勢を感じる」アスリート

- 1 位: 錦織圭(テニス)
- 2 位: 桐生祥秀(陸上)
- 3 位: 大谷翔平(野球)
- 4 位: 筒香嘉智(野球)
- 5 位: 平野美宇(卓球)

4)「常にチャレンジ精神を持ち続けている」アスリート

- 1 位: イチロー(野球)
- 2 位: 錦織圭(テニス)
- 3 位: 浅田真央(フィギュアスケート)
- 4 位: 桐生祥秀(陸上)
- 5 位: 澤穂希(サッカー)

5)「生き方や発言に共感できる」アスリート

- 1 位: イチロー(野球)
- 2 位: 錦織圭(テニス)
- 3 位: 澤穂希(サッカー)
- 4 位: 古田敦也(野球)
- 5 位: 浅田真央(フィギュアスケート)

■ 調査概要 ■

- ・調査方法: Web 調査
- ・調査地区: 首都圏＋京阪神圏
(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)
- ・調査対象者: 対象エリアに在住の 15～69 歳の男女
- ・有効回収サンプル数: 600 サンプル
- ・調査期間: 2015 年 6 月 18 日～25 日